



# ボラ連の仲間の活動状況です

「にこにこクラブ」は1986年5月に設立され、36年間「認知症を支えるボランティアの会」として活動してまいりました。

私達は、これまでボランティアによるデイサービスを月2回開催し、家族会を支えて参りました。しかし、ボランティアの高齢化とコロナの感染拡大が重なり、思うような活動ができなくなりました。

そして、会の中で検討した結果、体制を変えていく決断をいたしました。

にこにこクラブは、2023年4月1日より、家族会を中心とした「認知症を支える当事者の会」として、会の趣旨に賛同する支援者と共に発足する事にいたしました。

認知症の方を介護している介護者同士が、相談し交流する場の「家族会」を開催してまいります。認知症の方と介護者、各々が楽しく有意義な時間を過ごす事ができたらと思っております。



ミニデイサービス

コロナ禍でまだまだ制限があり、当分の間は月1回午前中のみの活動になるかと思いますが、毎日の介護の疲れの中でも「にこにこしていよう」との願いを込めて、これからも活動を続けてまいります。

にこにこクラブ 会長 寺元 栄子



家族会

## にこにこクラブ

みなさま！パネル展をご存じでしょうか？  
茅ヶ崎ボランティア連絡会（ボラ連）は、聴覚障がい関係4グループ、視覚障がい関係4グループ、ケアサポート関係4グループ、その他1グループの13グループで構成されています。  
それぞれのグループ毎に、活動の様子をPRするために「日頃の活動風景写真」や「メッセージ」を掲載した、新聞紙を広げた位のサイズの看板を作成しております。この看板を「パネル」と呼んでおり、ボランティア大学・ボランティアまつり等に活用しています。  
広報活動の一端として、パネルを集中的に展示し、ボラ連会員以外の方々にも見ていただく機会を作り、これをボラ連では「パネル展」と呼んでいます。現在はイオン茅ヶ崎中央店1階入り口付近の一部をお借りし、ボランティアまつりの一週間前頃に毎年開催しております。



ボラ連40周年記念誌によると、過去には市役所分庁舎コミュニティホール・ラスカ4階Cスクエア・市役所ふれあいプラザ等でも開催してまいりました。  
2022年度は、11月14日（月）11月21日（月）までイオン茅ヶ崎中央店で開催し、パネルの他に「和」「ボラだより159号」「3グループから提供されたチラシ」を展示しました。  
「和」については99部、「ボラだより159号」については70部、「3グループから提供されたチラシ」についてはほぼ全部お持ち帰りいただきました。



茅ヶ崎ボランティア連絡会 書記 長瀬 忠和

# 42回ボランティアまつりの感染防止

茅ヶ崎ボランティア連絡会 書記 岡田 善司

昨年11月23日に42回ボランティアまつり（ボラまつり）は新型コロナ感染防止対策を行なって3年ぶりに開催することができました。42回ボランティアまつり実行委員会（実行委員会）が新型コロナ禍の6月に立ち上がり、7月の実行委員会で「コロナ禍でのボラまつり実行委員会の進め方」（下段参照）を確認、8月は休会にして9月の実行委員会で開催するか否かの最終判断をすることにしました。9月の実行委員会で多数の団体が参加の意思を示し開催することに決定、開催までの2ヶ月半の間に実行委員会役員会（役員会）で通年の開催準備のほかに、感染対策に関して「茅ヶ崎市民文化会館利用上へのお願いに対する対応」「まつり実行委員会の自主対策」（下段参照）の具体的な方法と手順をまとめました。特に、当日の来場者に感染対策をお願いする「受付係」の体制と体制の検討に大半の時間を費やしました。当日にしか受付係に手順を説明する時間が取れない状況だったので、複雑な手順を避けた方向に議論が交わされ、役員会を重ねる毎に単純になり、最後には上手くいく自信がもてる体制と体制にまとめる事ができました。ただ、経験したことのないことを机上での検討でしかなかったので一抹の不安を持って当日を迎えました。



開場前の入場待機列



バザー会場内の受付

当日は、開場の10時から10時30分までに、30分間の最大想定者数に近い110名の入場者がありましたが、受付係を担当した方々が臨機応変に対応していただき、大きな混乱なく対応できました。12時終了まで、受付係の交代がありましたが、スムーズに引き継がれていました。会場案内のチラシで新型コロナに感染した場合は連絡していただくことをお願いしましたが、来場者からの連絡はありませんでした。役員一同、ほっと致しました。

最後に、受付係を担当していただいた方々、茅ヶ崎市社会福祉協議会、参加団体の皆様の協力に感謝いたします。有難うございました。



バザー会場内（誘導体験）

### コロナ禍でのボラまつり実行委員会の進め方

方針	会場利用上の制約と中止になることを承知で参加役員が会場利用上の制約下で実施できる案を検討
感染対策	役員の感染対策案を実行委員会で検討・実施 自主的感染対策を実施
実施判断	会場が中止と分かった時点でボラまつり中止 最終判断は9月実行委員会

### 市民文化会館 利用上のおお願い 対応1

- おお願い：人と人が接触しない程度の間隔の確保  
⇒対応：入場者数の制限
- おお願い：開催後7日間に感染した時 市民文化会館へ連絡  
⇒対応：入場者の連絡先を把握
- ⇒具体的対応：整理券方式  
氏名・電話番号記入(中学生以上),最大150名(30分毎,入替)

### 市民文化会館 利用上のおお願い 対応2

- おお願い：マスクの着用  
⇒対応：入場前の受付で装着を確認
- おお願い：展示室・練習室に入場時 検温、手指消毒  
⇒対応：入場前の受付で実施
- ⇒具体的対応：受付を増員(マスクの着用確認,検温,手指消毒)  
受付終了の印(リストバンド装着)

### ボラまつり実行委員会 自主対策

- 自主対策：開演時間短縮（午前・午後から午前のみ）  
⇒理由：関係者の屋食時の感染を回避
- 自主対策：招待状配布・当日のチラシ配り取りやめ  
⇒理由：入場者数を例年より低減
- 自主対策：ビニール手袋配布（感染防止）  
⇒理由：来場者の希望者に配布